

魚町防潮堤工事の施工ミスに至った原因と経過（1）

施工箇所：魚町地区防潮堤工事の施工ミス概要図（資料2）

年度	年 月 日	内 容	備 考
H25 年度	平成26年2月15日	魚町地区防潮堤は余裕高1mにフラップゲートを採用し、背後で気仙沼市が行う土地 区画整理事業をT.P.+2.8mまでかさ上げすることで、「陸側から見た目の高さ 1.3m」とする防潮堤計画（防潮堤高さT.P.+5.1m）について協議会と合意	
H27 年度	平成27年7月3日	防潮堤工事契約	
	平成28年2月17日	ゲート工事契約	
H28 年度	平成28年5月11日	内湾地区復興まちづくり協議会から県に地盤隆起に伴う防潮堤高さ見直しの要望書の 提出	
	平成28年5月16日	気仙沼市から県に地盤隆起に伴う防潮堤高さ見直しの要望書の提出	
	平成28年5月31日	国土地理院から水準点測量の再度実施について発表	
	平成28年7月14日	防潮堤修正設計業務委託契約	
	平成29年2月28日	国土地理院から水準点改定について公表	
	平成29年3月6日	内湾地区復興まちづくり協議会ワーキング開催 県から魚町地区と南町地区の防潮堤高さについて、水準点の改定により22cm下げる （陸側から見た目の高さ1.08m）ことを説明	
	平成29年3月8日	設計業者、防潮堤、ゲート各施工業者に防潮堤高さが変更となることを説明	
	平成29年3月15日	設計業者から天端高の22cm下げに加えて、岸壁の60cm嵩下げが行われるため、防 潮堤基盤面を62cm深くし、これにより躯体高さを3.3mから3.7mに変更する提案あり、 県了解	
	平成29年3月17日	設計業者から防潮堤高さを見直した構造図（高さの表記の一部に誤りあり）が県に提 出され、県から防潮堤、ゲート各施工業者に提供	
	平成29年3月20日、 21日、28日	協議会地区会開催 県から魚町地区と南町地区の防潮堤高さについて、水準点の改定により22cm下げる （陸側から見た目の高さ1.08m）ことを説明	
	平成29年3月21日	構造図における2箇所の表記ミスのうち、1箇所について、県の担当者から設計業者 に修正を指示するメールを送信。（設計業者は、修正指示メールに気づかなかつたため、 対応しなかった。）	
平成29年3月29日	防潮堤工事出来高検査実施		
平成29年4月1日	人事異動により県の担当者を変更		
平成29年5月30日	設計業者から防潮堤高さを見直した配筋図（高さの表記の一部に誤りあり）が県に提 出され、県から防潮堤施工業者に提供		
平成29年9月26日	神明崎側箇所（L=99m）の防潮堤工事に着手（床堀開始）		
平成29年9月29日	ゲート工事中間検査（工場検査）実施		
平成29年9月29日	神明崎側箇所の防潮堤均しコンクリート着手		
平成29年10月18日	神明崎側箇所の防潮堤鉄筋組立着手		
平成29年10月24日	神明崎側箇所の防潮堤型枠着手		
平成29年10月31日	設計業者から県に修正設計業務委託の業務完了報告書が提出		
平成29年11月1日	防潮堤高さを見直した設計業務報告書（図面含む）を県から防潮堤施工業者に提供		

年度	年 月 日	内 容	備 考
H29 年度	平成29年11月6日	神明崎側箇所の防潮堤躯体コンクリート着手	
	平成29年12月5日	南町側箇所（L=61m）の防潮堤工事に着手（床掘開始）	
	平成29年12月11日	神明崎側箇所のゲート工事に着手	
	平成29年12月25日	神明崎側箇所の防潮堤躯体コンクリート完成	
	平成30年1月19日	防潮堤工事中間検査実施（南町地区防潮堤を対象した検査）	
	平成30年2月26日	神明崎側箇所のゲート工事完成	
	平成30年3月2日	県の担当者が、ゲートの起立時の高さを確認した際、防潮堤高さが誤っていることを疑い、防潮堤、ゲート各施工業者に再測量を指示	
	平成30年3月3日	南町側箇所の防潮堤躯体コンクリート完成	
	平成30年3月6日	防潮堤、ゲート各施工業者から県への測量結果報告により防潮堤高さの誤りが判明。誤りに至る事実関係についての確認を開始	
	平成30年3月26日	ゲート工事出来高検査	
H30 年度	平成30年8月1日	防潮堤未施工箇所において本体工事の一部（T.P.+3.0mの高さまで）施工に着手（H30.7.30付けで、県から魚町地区各自治会会員あてに、施工に着手する旨のお知らせを送付）	